

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成26年8月28日(2014.8.28)

【公開番号】特開2013-31687(P2013-31687A)

【公開日】平成25年2月14日(2013.2.14)

【年通号数】公開・登録公報2013-008

【出願番号】特願2012-222023(P2012-222023)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 3 4

A 6 3 F 5/04 5 1 2 D

A 6 3 F 5/04 5 1 2 Z

A 6 3 F 7/02 3 1 9

【手続補正書】

【提出日】平成26年7月14日(2014.7.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数の回胴が配された複数の回胴と、

前記複数の回胴の停止制御を行う回胴動作制御手段と、

演出に関する制御を行う演出表示制御手段と

を備えた遊技機であって、

主制御手段は、

所定の始動条件を満たすと前記複数の回胴の回転動作を開始し、所定の停止条件を満たすと前記複数の回胴のうち、停止条件を満たした回胴を停止させる遊技進行制御手段と、

所定の異常が発生した場合にエラーフラグをオンにするエラー検出手段と、

すべての回胴の回転動作が停止している状態においてエラー解除条件を充足した場合に前記エラーフラグをオフにするエラー解除手段と、

前記エラー検出手段で遊技機の異常が発生した場合にエラーフラグを記憶しておくエラー関連情報一時記憶手段と、を有し、

前記遊技進行制御手段は、いずれかの回胴の回転動作が実行されている状態において前記エラー関連情報一時記憶手段のエラーフラグがオンとなった場合でも回転動作中の回胴を強制停止させることなく遊技を継続し、その後、いずれかの回胴の回転動作が実行されている状態からすべての回胴の回転動作が停止している状態に移行した場合、遊技媒体の扱出し処理に先立って遊技の進行を停止し、前記エラー解除手段により前記エラー関連情報一時記憶手段のエラーフラグがオフになるまでは前記遊技媒体の扱出し処理を行わないよう制御する

ことを特徴とする遊技機。

【請求項2】

前記主制御手段は、

前記演出表示制御手段側に遊技情報を送信する手段であって、複数の回胴の夫々が停止する度に停止情報を送信する情報送信制御手段を備え、

前記演出表示制御手段は、

前記主制御手段側の情報送信制御手段からの停止情報を受信する度に、回胴の停止音を出力する停止音出力制御手段と、

いずれかの回胴の回転動作が実行されている状態から、すべての回胴の回転動作が停止している状態に移行したことを契機として、遊技者が認識可能かつ遊技機から直接出力される演出表示情報であって、遊技媒体の払出しに関する演出表示情報の出力を実行しうる停止時演出制御手段と、

エラー報知音を出力するエラー報知制御手段とを備え、

前記エラー報知制御手段は、エラー関連情報一時記憶手段のエラーフラグがオンであるときに停止時演出制御手段による前記遊技媒体の払出しに関する演出表示情報の出力に先立って当該エラー報知音に関する情報を出力し、

前記停止音出力制御手段は、前記エラー関連情報一時記憶手段のエラーフラグがオンである場合、エラーフラグがオンでない場合と比して回胴の停止音量を下げるよう構成された請求項1に記載の遊技機。

### 【請求項3】

前記停止音出力制御手段は、前記エラー関連情報一時記憶手段のエラーフラグがオンである場合、回胴の停止音を消音するよう構成された請求項2に記載の遊技機。

### 【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

### 【0008】

本態様に係る遊技機は、

複数の図柄が配された複数の回胴と、

前記複数の回胴の停止制御を行う回胴動作制御手段と、演出に関する制御を行う演出表示制御手段とを備えた遊技機であって、

主制御手段は、

所定の始動条件を満たすと前記複数の回胴の回転動作を開始し、所定の停止条件を満たすと前記複数の回胴のうち、停止条件を満たした回胴を停止させる遊技進行制御手段と、所定の異常が発生した場合にエラーフラグをオンにするエラー検出手段と、

すべての回胴の回転動作が停止している状態においてエラー解除条件を充足した場合に前記エラーフラグをオフにするエラー解除手段と、

前記エラー検出手段で遊技機の異常が発生した場合にエラーフラグを記憶しておくエラー関連情報一時記憶手段と、を有し、

前記遊技進行制御手段は、いずれかの回胴の回転動作が実行されている状態において前記エラー関連情報一時記憶手段のエラーフラグがオンとなった場合でも回転動作中の回胴を強制停止されることなく遊技を継続し、その後、いずれかの回胴の回転動作が実行されている状態からすべての回胴の回転動作が停止している状態に移行した場合、遊技媒体の払出し処理に先立って遊技の進行を停止し、前記エラー解除手段により前記エラー関連情報一時記憶手段のエラーフラグがオフになるまでは前記遊技媒体の払出し処理を行わないよう制御する

ことを特徴とする遊技機である。

また、本態様に係る遊技機は、

前記主制御手段は、

前記演出表示制御手段側に遊技情報を送信する手段であって、複数の回胴の夫々が停止する度に停止情報を送信する情報送信制御手段を備え、

前記演出表示制御手段は、

前記主制御手段側の情報送信制御手段からの停止情報を受信する度に、回胴の停止音を出力する停止音出力制御手段と、

いずれかの回胴の回転動作が実行されている状態から、すべての回胴の回転動作が停止している状態に移行したことを契機として、遊技者が認識可能かつ遊技機から直接出力される演出表示情報であって、遊技媒体の払出しに関する演出表示情報の出力を実行しうる停止時演出制御手段と、

エラー報知音を出力するエラー報知制御手段とを備え、

前記エラー報知制御手段は、エラー関連情報一時記憶手段のエラーフラグがオンであるときに停止時演出制御手段による前記遊技媒体の払出しに関する演出表示情報の出力に先立って当該エラー報知音に関する情報を出力し、

前記停止音出力制御手段は、前記エラー関連情報一時記憶手段のエラーフラグがオンである場合、エラーフラグがオンでない場合と比して回胴の停止音量を下げるよう構成されていてもよい。

また、本態様に係る遊技機は、

前記停止音出力制御手段は、前記エラー関連情報一時記憶手段のエラーフラグがオンである場合、回胴の停止音を消音するよう構成されていてもよい。

<付記>

尚、本態様とは異なる別態様について以下に列記しておくが、これらには何ら限定されることなく実施することが可能である。

本別態様に係る遊技機は、

複数の図柄が配された複数の物理的な回胴（例えば、ドラム部 2133 又は主リールユニット 2110）を備え、すべての回胴の回転動作を開始した後に夫々の回胴が順次停止して遊技の結果を回胴上に表示可能な遊技機（例えば、ぱちんこ遊技機又は回胴式遊技機 1）であって、

前記遊技機は、すべての回胴の回転動作が停止している非遊技状態からいずれかの回胴の回転動作が実行されている遊技状態へと移行する制御を行いうる遊技進行制御手段（例えば、遊技制御手段 1100 又は遊技開始制御手段 1130）と、

遊技状態中、複数の回胴のそれぞれの回転動作が停止する度に回胴の停止音を出力する停止音出力制御手段（例えば、ドラム停止音出力制御手段 2152c-1 又はリール停止音出力制御手段 3220）と、

遊技状態から非遊技状態に移行したことを契機として情報出力を実行しうる情報出力制御手段（例えば、ドラム動作終了時演出制御手段 2152c-2 又は入賞演出制御手段 3230）と、

前記遊技機に係る異常が発生した場合にエラーフラグをオンにし、非遊技状態でエラー解除条件を充足した場合にエラーフラグをオフにするエラー制御手段（例えば、エラー監視制御手段 1410 又はエラー制御手段 1400）と、

遊技状態中にエラーフラグがオンとなった場合、エラー報知状態を第一のエラー状態とし、その後、遊技状態から非遊技状態に移行したときにエラー報知状態を第二のエラー状態とするエラー状態移行制御手段（例えば、エラー状態管理手段 1421）と、

第一のエラー状態及び第二のエラー状態である場合、エラー報知情報を出力するエラー報知制御手段（例えば、エラー報知手段 1422 又はエラー報知手段 1430）を備え、

前記エラー報知制御手段は、第二のエラー状態であるときに情報出力制御手段による情報出力に先立って又は中断して当該エラー報知情報を出力し、

前記遊技進行制御手段は、遊技状態中にエラーフラグがオンとなった場合でも回転動作中の回胴を強制停止させることなく遊技を継続し、その後、遊技状態から非遊技状態に移行した場合、エラーフラグがオフになるまでは遊技状態に移行しないよう制御し、

前記停止音出力制御手段は、第一のエラー状態である場合、第一のエラー状態でない場

合と比して回胴の停止音量を下げたうえで出力するか又は停止音の出力を行なわない  
ように構成された遊技機である。